

2021年3月期 証券コード:9412

株主通信

株式会社スカパーJSATホールディングス



SKY Perfect JSAT
Holdings Inc.

未知を、価値に。



代表取締役社長

米倉 英一

Eiichi Yonekura

「スカパーJSATグループプラン2020+」をさらに進化させながら、基礎収益力の向上を目指してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、依然として深刻な状況が続いておりますが、医療関係者をはじめ、感染拡大の抑止に尽力されている全ての方々はこの場をお借りして心から感謝申し上げます。

2021年3月期の業績はメディア事業の加入件数の減少が続いたものの、宇宙事業において新たに運用を開始した通信衛星JCSAT-17やハイスループット衛星(従来よりも伝送容量を大幅に拡

張した衛星)であるHorizons 3eの収益拡大に伴い増収となりました。利益面についてはメディア事業の営業費用が大きく減少したこと等が寄与し、営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益はともに大幅な増益となりました。

足元の2022年3月期については、宇宙事業では、前期と同様、航空機の減便等により移動体向け衛星回線需要への影響が継続する見込みですが、グローバル市場、特にアジアを中心とする成長市場での衛星通信需要を積極的に取り込んでまいります。また、低軌道衛星から

取得できるさまざまな地理空間情報とAI分析を組み合わせたビジネスインテリジェンス分野での収益拡大も目指してまいります。

メディア事業では、他社の動画配信サービスとの顧客獲得競争やスポーツを中心としたコンテンツ獲得競争の激化により、加入件数減に伴う視聴料関連収入が減少すると想定していますが、事業収支改善のための事業構造改革を引き続き推進するとともに、将来の成長に向け、配信事業やFTTH事業を積極的に展開してまいります。

さらなる成長に向けて

昨年度より推進している、「スカパーJSATグループプラン2020+」を軸に、当社の強みと新たなパートナーリングを活かして、株主価値の向上に取り組んでまいります。

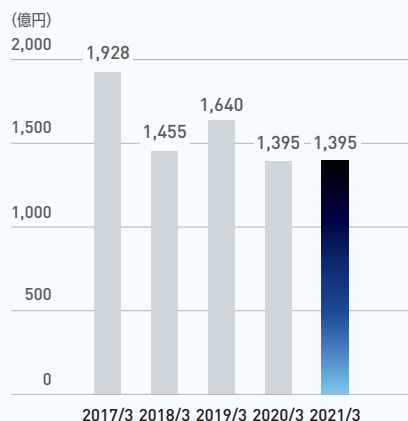
スカパーJSATグループ プラン2020+

各項目の主な取り組みについて、ご説明いたします。

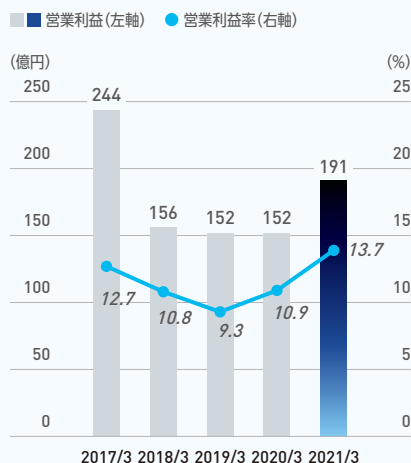
人 RE POWERING

これまで、コロナ禍に対応した、場所・

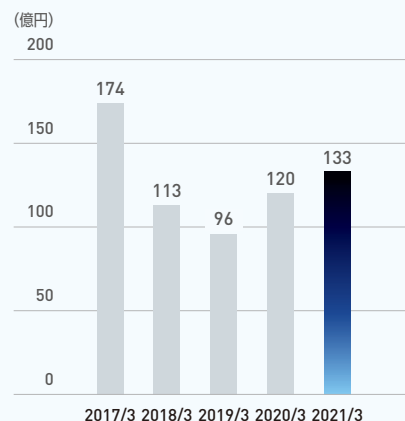
営業収益



営業利益／営業利益率



親会社株主に帰属する当期純利益



時間に捉われない柔軟な働き方の実現、若手社員の抜擢などによる人財活性化に取り組んできましたが、これからも、世の中の変化に合わせて働く環境や制度を柔軟に見直していきます。

そして、制度を変えるだけでなく、グループミッションの実現に向けて、従業員一人一人が自己を変革し、自らのパフォーマンスを最大限発揮できる会社を目指してまいります。

事業 RE BUILDING

宇宙事業では、航空機Wi-Fi向け回線提供をはじめとするグローバル市場の需要に積極的に対応するとともに、国内外において衛星利用が拡大している携

帯バックホール向けの回線提供も拡大してまいります。また、ビジネスインテリジェンス分野における収益拡大にとどまらず、さまざまな用途の宇宙インフラを国内外のビジネスパートナーとも協力しながら構築してまいります。その一環として、日本電信電話(株)との業務提携契約を締結し、Beyond 5G・6G時代の宇宙統合コンピューティング・ネットワークによる新たな収益の実現も検討してまいります。メディア事業においては、FTTHや5G・Beyond 5Gなどの多様な伝送手段による事業展開を推進するとともに、国内外の配信サービスを支援するB2B事業である「メディアHUBクラウド」の実現に向けた取り組みを開始いた

しました。また、「スカパー!オンデマンド」を発展させた新しい配信事業を立ち上げ、将来的には放送・配信を融合したプラットフォーム展開も図ってまいります。

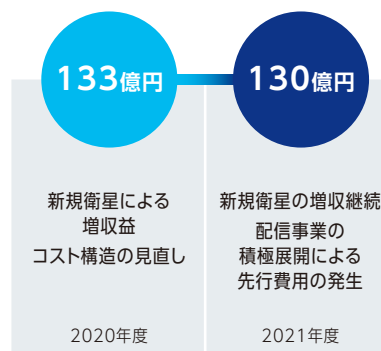
会社 RE BRANDING

2020年10月より『未知を、価値に。』を合言葉に、企業ブランディング活動を開始しています。地上から宇宙空間までをビジネスフィールドとする、ユニークかつ挑戦を続けていく当社の姿を、広く世の中の皆様に知っていただくべく、継続的に活動を行ってまいります。

加えて、サステナビリティ経営をより一層推進し、コーポレート・ガバナンスの強化も併せて行うことで、ブランド価値を高めてまいります。

中期的に基礎収益力のさらなる強化を目指す

当期純利益



基礎収益力強化の具体策

宇宙事業

- 航空機Wi-Fi等のグローバル市場の旺盛な衛星通信需要に積極対応
- ビジネスインテリジェンス分野の収益拡大とパートナーシップによる新領域への進出
- 「宇宙基本計画」に沿った事業拡大

メディア事業

- FTTHや5G・Beyond 5G等の多様な伝送手段における利益拡大
- B2B事業・配信事業の推進

2022年度～

安定した顧客基盤のもと 財務的安定性を確保

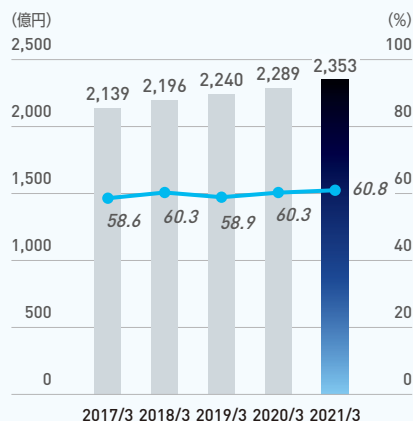
安定的な顧客基盤に基づく従来事業に加え、新規事業の収益化により、基礎収益力の向上を着実に図っていくとともに、今後とも財務の安定性を確保し、適切に株主還元を行ってまいります。

2022年3月期の1株当たりの年間配当額は、18円を予定しています。

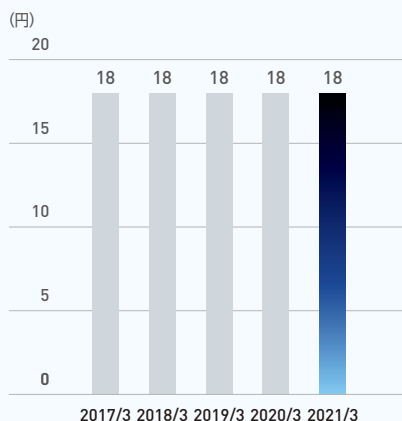
株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

純資産／自己資本比率

■ 純資産(左軸) ● 自己資本比率(右軸)



1株当たり年間配当金



2022年3月期業績予想

営業収益	1,220億円
営業利益	180億円
親会社株主に帰属する当期純利益	130億円

(注1) 2022年3月期より適用される「収益認識に関する会計基準」により、営業収益の表示が220億円減少しております。主な要因は次の通りです。

- ・メディア事業における、「視聴料収入」から「番組供給料」等を控除した純額を収益として認識すること等の影響で200億円減少。
- ・宇宙事業における、他社回線販売の一部に関連費用控除後の純額を収益として認識すること等の影響で20億円減少。

(注2) 実際の業績は、さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。今後の状況の変化によって業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

メディア事業

MEDIA BUSINESS



2021年3月期の取り組み

テレビ1台分の料金で3台まで追加料金なしで50チャンネルが見放題となる「スカパー!基本プラン」は、「スカパー!イエナカ応援キャンペーン」が奏功するなど契約件数は順調に増加し、2021年3月末時点で628千件(前期末比124%)に達しました。家庭内の複数の部屋で視聴できる環境を増やすことで、お客様の満足度向上を図っています。

光ファイバーによる地上デジタル・BSデジタル等の再送信サービスは、新4K8K衛星放送全チャンネルが視聴可能となっており、4Kテレビの普及や再送信サービスの提供エリア拡大に合わせ、契約件数の拡大に努めています。2020年11月には、東北エリアにおいてケーブルテレビ事業者と放送設備を共有して事業効率化を図る協業モデルによるサービス提供を開始するなど、提供可能世帯数は2021年3月末時点で33都道府県・約3,200万世帯となっています。

今後、コンテンツの差別化に取り組むとともに光回線(FTTH)や5G・Beyond 5Gなどの多様な伝送手段による展開、B2B事業および配信事業の推進に取り組んでいきます。

成長への取り組み

メディア事業では近年、お客様のニーズ、視聴環境が劇的に変化しています。受動的であったテレビ視聴者が能動的になり、複数のデバイスやサービスを使い分けて楽しむ形態が定着しました。

それに伴い、動画配信を活用したいという企業等のニーズも増えています。そういった世の中の変化に合わせ新たな事業領域も積極的に開拓していきます。

放送事業



スカパー!

お客様に向き合う「ファンマーケティング」の推進で選ばれる存在に

コンテンツ視聴だけにとどまらない+αの価値を提供し、「コンテンツのファン」から「スカパー!のファン」になっていただくことを目指します。

光回線を経由したテレビ再送信サービスの接続世帯の拡大とサービスの拡充
2020年度末時点で接続世帯数は244万世帯となっております。
NTT東西と連携しさらなる拡大を目指します。

配信事業



「スカパー!オンデマンド」のリニューアルにより競争力を強化
2021年度下期にリニューアルを予定しております。将来的には放送と配信が融合したプラットフォームを目指します。

スマッホー!



B2B事業



スカパーJSATの保有する放送関連設備・技術を活用したB2B事業の展開

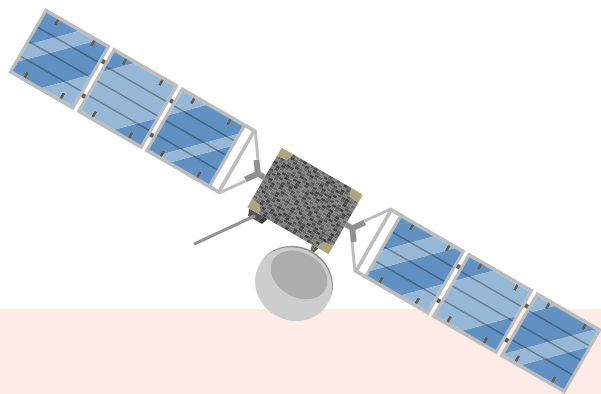
株式会社PLAYと連携し、より手軽かつ効率的な配信ソリューションを提供する「メディアHUBクラウド」サービスを2021年度下期に開始する予定です。
詳細は下記ホームページからご覧ください。



メディアHUBクラウドホームページ

宇宙事業

SPACE BUSINESS



2021年3月期の取り組み

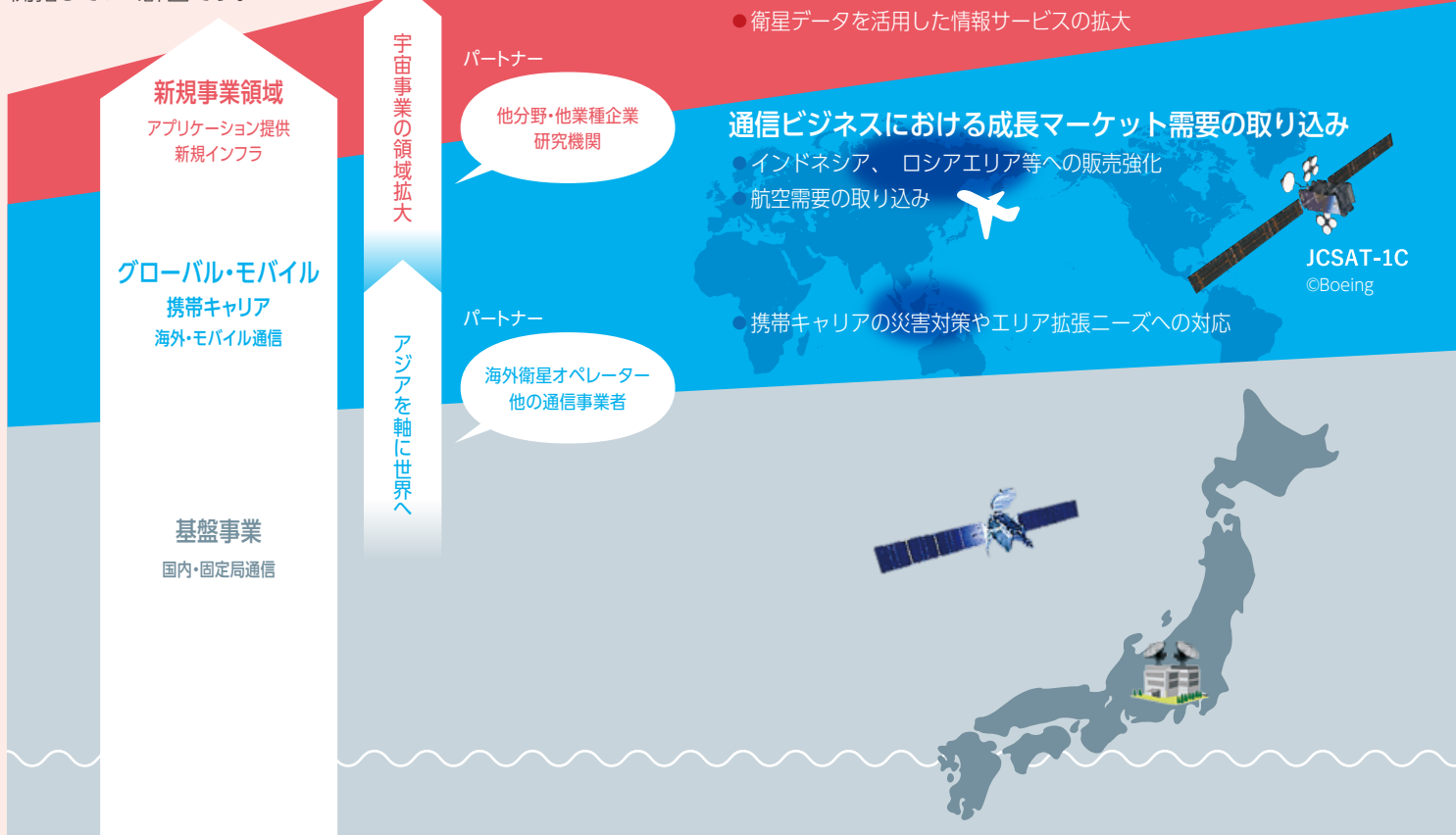
2020年2月に打ち上げたJCSAT-17は、2020年4月に移動体通信の既存顧客との長期利用契約に基づくサービス提供を開始しています。また、2021年3月に新規衛星「Superbird-9」の調達契約を締結いたしました。本衛星は運用中のSuperbird-C2の後継機であり、打ち上げは2024年度上期を予定しています。

グローバル・モバイルビジネスの拡大および競争力の強化のため打ち上げたハイスループット衛星（従来よりも伝送容量を大幅に拡張した衛星。以下「HTS」という。）のJCSAT-1Cについては、インドネシアエリアを中心に2021年度以降のサービス提供に向けた新規の契約を獲得しています。同じくHTSであるHorizons 3eも着実に収益を拡大しており、さらなるサービス提供の拡大に向けて営業活動を強化してまいります。

今後、さまざまな空間におけるインフラを活用していくとともに、官・民・学のさまざまなパートナーとの連携を通して、社会の安心・安全を支える新たな宇宙事業領域の開拓を進めていきます。

成長への取り組み

宇宙事業では、今後の事業活動として、従来型の衛星通信・国内放送利用の安定した事業継続に加え、海外、特にアジアを中核とする成長マーケットの衛星需要の取り込み、さらには多様な事業パートナーと積極的なコラボレーションを推進し、新規事業領域を開拓していく計画です。



SDGsの取り組み強化 について



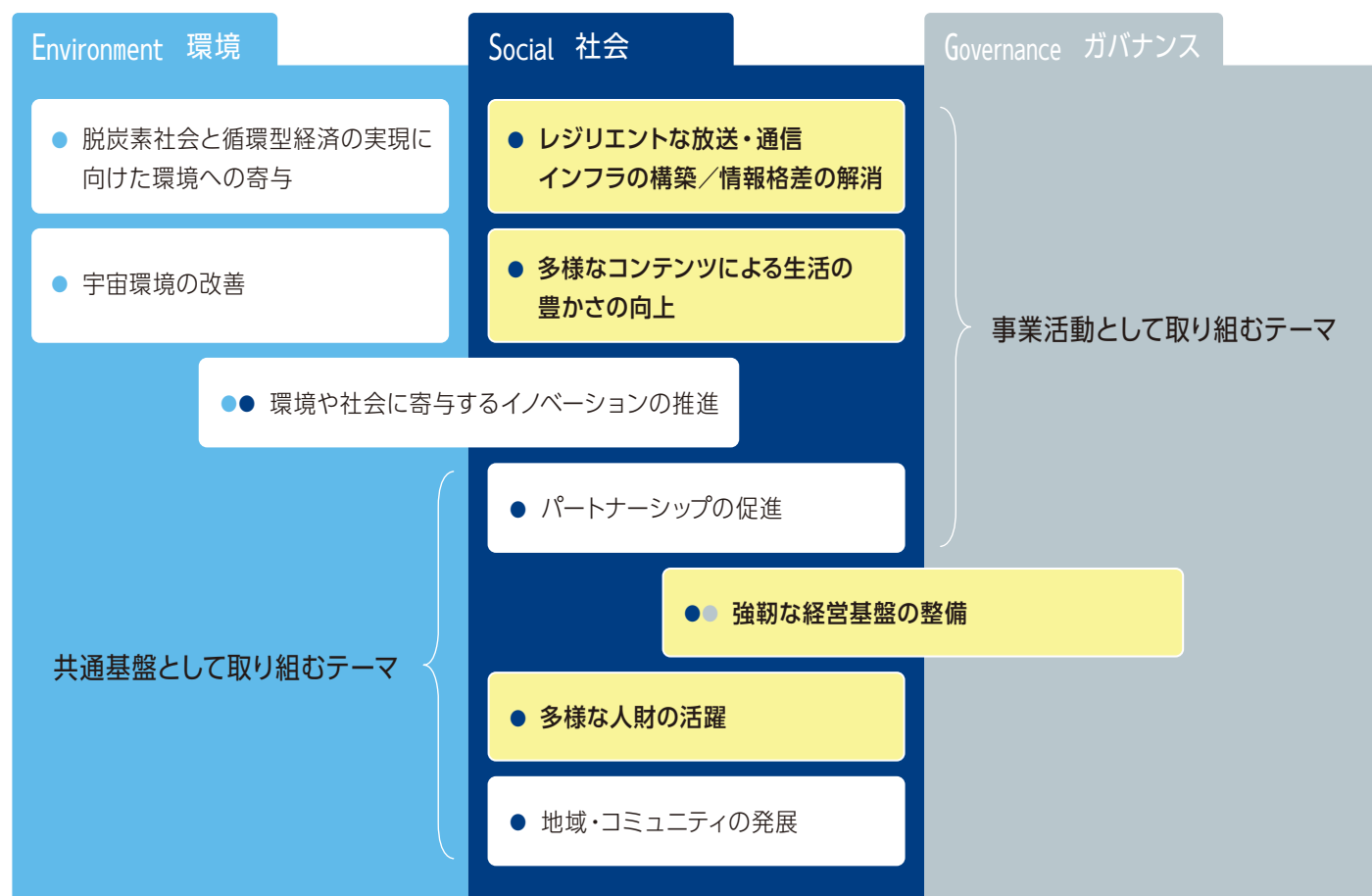
スカパーJSATグループミッション「Space for your Smile」が
目指すひとりひとりのよりよい明日を迎える世界へ

サステナビリティ経営の深化に向けて

当社は、放送・通信という公共性の高い事業の提供を通じて、これまでさまざまな社会課題の解決に取り組んできましたが、2020年9月、サステナビリティ委員会を設立いたしました。この体制のもと、より豊かな社会の実現と持続的な成長の両立を目指し、サステナビリティ経営の深化に向けた取り組みを強化してまいります。

スカパーJSATの9つの重要課題(マテリアリティ)テーマ

このたび、社内での議論に加え、外部のステークホルダーや有識者の意見も取り入れ、当社が事業を通じて取り組むべき9つの重要課題テーマを定めました。今後は、これらのマテリアリティに基づき、より長期的な対応方針や具体的な目標を設定し、サステナビリティ経営の実践を進めてまいります。



取り組みの詳細は当社ウェブサイト
サステナビリティページで
ご覧いただけます。



ミッションの実現を通じて当社らしい社会貢献と持続的な成長を目指します

わたしたちは、2018年に制定したグループミッション「Space for your Smile」のもと、ステークホルダーの皆様や社会に必要とされ続ける企業として、これまでも持続的な成長を目指してまいりましたが、このたび「SDGs(持続可能な開発目標)」の取り組みを一層強化し、社会から必要とされ、持続的な成長を続けるサステナビリティ経営の実現を目指すことを表明しました。

地上からでは通信や放送をお届けできない地域にも宇宙から放送やデータを届け、災害に強いインフラを提供することで、自治体や企業のBCP体制整備にも貢献していると承知しています。事業を通じて人々の生活をより良くする、これはまさにSDGsの精神とも合致したものであり、この取り組みを強化していくことで持続的な成長を目指してまいります。



サステナビリティ委員会 委員長
取締役 大松澤 清博



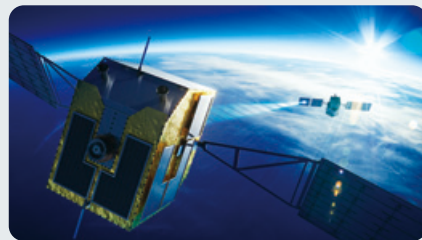
衛星通信 衛星放送

災害時にもつながる衛星通信、
いつでもどこでも楽しめる衛星放送



宇宙ごみ 除去

宇宙をビジネスフィールドとする
企業として宇宙環境を保全



リモート センシング

衛星画像データの利活用による
防災・減災、環境保全等に寄与



宇宙×エンタメ

宇宙からのメッセージを通じて
グローバルシチズンシップを醸成



提供: パスキュール/スカパーJSAT/JAXA

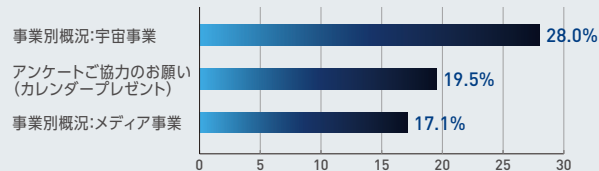
具体例



第14回 株主様アンケート結果のご報告

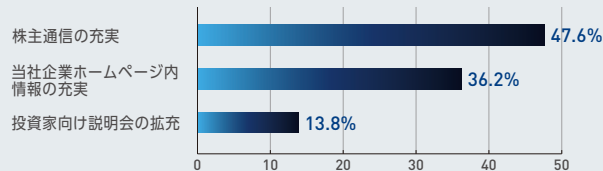
- 株主様アンケートハガキの送付数：30,186件
- 回答数：3,813件(回答率12.6%)

〈前回株主通信でご関心が高かった情報 トップ3〉



当社の「宇宙事業」に関する高い関心が示されました。宇宙事業に関するよりわかりやすい情報発信に努めるとともに、当社ならではの事業を積極的に展開してまいります。

〈IR活動に期待すること トップ3〉



株主通信や当社企業ホームページからの情報発信を拡充してまいります。また、コロナ禍の状況下、2020年12月、2021年3月には、新たな試みとして、個人投資家向け会社説明会をオンラインLIVE配信で実施し、ご好評いただきました。

今後とも、DX環境を最大限活用し、幅広い事業領域の紹介や関連指標の開示など、株主の皆様にご理解をよりいっそう深めていただけるよう、継続的に改善を続けてまいります。

会社概要 (2021年6月25日現在)

会社名	株式会社スカパーJSATホールディングス (SKY Perfect JSAT Holdings Inc.)
設立	2007年4月2日
資本金	10,033百万円
従業員数	846名(連結)(2021年3月31日現在)
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1
電話番号	03-5571-1500(代表)

取締役・監査役

代表取締役会長	高田 真治	取締役(非常勤)	中谷 巖
			小杉 善信
代表取締役社長	米倉 英一		藤原 洋
			大賀 公子
取締役	福岡 徹		清水 賢治
	大松澤 清博		
	小川 正人	監査役	小川 晃
	松谷 浩一		大江 淳彦
		監査役(非常勤)	高橋 勉
			大友 淳

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
配当の基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日
取引市場	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	9412
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

お問合せ先

お取扱窓口	証券会社に口座をお持ちの場合、各お取引の証券会社等へお問合せください。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記「お取扱店」にてお取次いたします。
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店	みずほ証券 本店および全国各支店/ プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行本店および全国各支店 (みずほ証券では取次ぎのみとなります)

※支払明細の発行については、上記の「お問合せ先」または「お取扱店」をご利用ください。

免責事項

本株主通信に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、さまざまなリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。

